

コンセプト（施術の方針）

1. カウンセリングと検査を行い、痛みや障害の原因をしっかりと追究します

痛い場所を聞いただけで、すぐに施術するということはいたしません。

痛みなどのからだの症状は結果であり、からだの使い方のクセや姿勢、生活習慣などが原因となっていることがあります。

カウンセリング（問診）では、いつから・どこが・どのような動かし方や使い方をした時に、どのような症状がでるのかをお聞きします。

検査では、姿勢や動きを観察することによって、からだにどのようなクセがあるかを分析し、施術すべき場所を特定していきます。

特に、初めて施術を受ける方には、時間をかけてじっくりとお話をうかがいます。

施術が二回目以降の方も、症状に大きな変化が起こった場合は、カウンセリングと検査を再度行っていきます。

2. 症状を改善するために、手技による適切な施術を行います

カウンセリングと検査によって特定された施術すべき場所や部位（結合組織、筋膜、筋肉など）に合わせて、適切な治療手技を選択して施術いたします。

いずれの手技も“繊細で柔らかな痛みのない刺激”です。

【治療手技】

- ・触圧覚刺激法（皮膚の感覚受容器への刺激）
- ・皮膚の動きの誘導、筋膜リリース
- ・表層・深層リンパ管へのマッサージ
- ・さとう式リンパケア、MRT（マッスル・リリース・テクニック）

3. 自分でできる身体の手入れ（セルフケア）の方法や身体の使い方などをお伝えします

一回の施術で痛みや違和感が無くなっても、ちょっとした事で症状が再発したり、悪化してしまうこともあります。

再発を防ぐためにも、①自分でできる痛みや痺れなどの身体の不調を整える方法、②負担のかからない身体の使い方、などをお伝えします。